

艶ばなしっこ一つ語ってみるがな



表紙 鮭・日本料理 ぼてじゅう

vol. **97** November 2022

contents 目次

- 06 おせち特集 2023
- 10 ランチ情報
- 14 野菜歳時記
- 15 食育エッセイ
- 16 求人 Information
- 18 ショッピング情報
- 20 ビューティー&ヘルシー情報
- 21 プレゼント&クーポン
- 27 タウンウォッチ
- 28 はちのへ TAKEOUT Gourmet
- 31 ひとり飲みこそ至福の時間 小料理屋編
- 32 忘新年会情報

ホームページ公開中

パソコン
<http://www.webwell.jp>

ケイタイ
<http://www.webwell.jp/mobile/>



昔々あつたず。ある所にたまげた仲の良い夫婦が居だつたずもな。ところが何年たつても子どもが生まれなかつたず。父親からは「早く跡取りつくれ」と云われ母親からは「早く孫の面っこ見せでけろ」とさんざん云われで居た親方（長男）は嬢（妻）に云つたず。「姉、姉、どうして俺どもにも出来ねべ。お前医者様から見でもらつてこい」と云つたず。

お前こそ医者様さ行つて来たらいかべ」と口とんがらせて云つたず。「何々、良く口答えするごと。俺の種はちゃんとしたもんだ。お前の畑が悪いんだべ。良い畑かどうか見でもらつて来う。」と親方は声を荒げたず。

「良くも良くも云つたもんだ、したら俺の種が立派で悪くない証拠を聞かせるべ。いいが、あの村はずれのあね娘をほらませたのはこの俺様だ」と偉りくさつた顔で云つたず。「エーツ」と嫁こはびつくりしたずもな。したども嫁こも負けずに涙をふきながらきつぱりと云つたず。「俺だつて俺だつて実家の親さ、あずけで来た童子は俺の畑から生まれた童子つこだ」と、云つてしまつたず。

さあ大変。怒りにまがせて云つてしまつたことは、後でいくら手で口をふさいでも、もうどうもこうもなるもんでねえず。どつとはれ



挿絵/久慈 彩華